



兵庫県立明石南高等学校  
77 回生年次通信 No.68  
2024 年 3 月 22 日発行

## たかがトイレ掃除、されどトイレ掃除

年次主任・藤田 裕之

今日で3年次0学期が終わります。昨日の年次集会では、毎回のことですが3つの『ことなり』がどのくらい出来たかを振り返ってもらいました。3つとも〇が付きましたか。また『ことなり』No.60 でこれから1年間「他者評価と時間の使い方を意識する」ように、と書きましたが、今学期はどのくらい意識して生活できたでしょうか。4月からはいよいよ3年次が始まります。皆さんにとって全てにおいて良い1年となることを期待しています。

ここ数年、私は男子トイレの掃除監督をしています。今年度トイレ掃除を担当してくれた5組の男子諸君は少人数でしたが大変よくやってくれました。2年次の締めくくり今回はトイレ掃除のお話をしたいと思います。

皆さんは「日本を美しくする会」を知っていますか。この会は(株)イエローハットの創業者である鍵山秀三郎氏(注)が始めた清掃活動で、主としてトイレ掃除を行っています。私が東播磨高校に勤務していた時、この活動を実践している同僚の先生の呼びかけでいくつかの運動部がトイレ掃除をすることになりました。私も卓球部員と一緒に参加しました。掃除の仕方は裸足でトイレに入り、サンドメッシュを使って素手で便器を磨く、というものでした。生徒たちは最初裸足でトイレに入ることに抵抗があったみたいですが、不思議なものでいざ掃除を始めると夢中になって自分に割り当てられた便器を磨きだしました。私も割り当てられた便器を磨き始めましたが、便器の汚れがみるみる落ちていき、真っ白になっていくと、わずかな汚れも気になって必死で汚れを落とそうとしました。黙々と目の前の便器に向き合い、ひたすら磨き続けて、気がついたら2時間が過ぎていました。掃除が終わったあとの生徒たちはとてもいい表情をしていました。感想文を読みましたが「やってよかった。」「トイレ掃除には不思議な力があつた。」というものが多かったです。その後何度かトイレ掃除に参加しましたが、生徒たちはこの体験を通して様々な気づきを得られたのではないかと思います。

私自身もトイレ掃除に参加して、ひとつの事に自分が納得いくまで、時間を忘れるほど夢中になって取り組むことの大切さにあらためて気づかされました。もちろんトイレ掃除をする意義は他にもたくさんあると思います。鍵山氏がトイレ掃除の効用を『なぜトイレ掃除か』にまとめておられますので以下に紹介させていただきます。併せて動画、インタビュー記事も是非参考にしてください。

今回はトイレ掃除のお話でしたが、これは勉強や学校行事、部活動を通して皆さんが自分を磨くことにも繋がってくると思います。勉強もトイレ掃除も好きでやる人は少ないと思いますが、夢中になることで

そこから得られるものは大きいと思います。いよいよ3年次を迎える77回生の皆さん、受験生として時間を忘れるくらい勉強に没頭して、それぞれの進路実現を目指して下さい。目標は一段高く設定して、それをクリアするように日々頑張ってください。

## なぜトイレ掃除か

### 謙虚な人になれる

どんなに才能があっても人は人を幸せにすることはできない。人間の第一条件はまず謙虚であること。謙虚になるための確実に一番の近道がトイレ掃除です。

### 気づく人になれる

世の中で成果をあげる人とそうでない人の差は無駄があるか、ないか。無駄をなくすためには、気づく人になることが大切。気づく人になることによって、無駄がなくなる。その「気づき」をもっとも引き出してくれるのがトイレ掃除。

### 感動の心を育む

感動こそ人生。できれば人を感動させるような生き方をしたい。そのためには自分自身が感動しやすい人間になることが第一。人が人に感動するのは、その人が手と足と体を使い、さらに身を低くして一所懸命取り組んでいる姿に感動する。特に人のいやがるトイレ掃除は最高の実践道場。

### 感謝の心が芽生える

人は幸せだから感謝するのではない。感謝するから幸せになれる。その点トイレ掃除をしていると小さなことにも感謝できる感受性豊かな人間になれる。

### 心を磨く

心を取り出して磨くわけにいかないのだから目の前で見えるところを磨く。特に人の嫌がるトイレをきれいにすると心も美しくなる。人はいつも見ているものに心も似てくる。

- ・トイレ掃除の様子はこちらから ➡ <https://www.youtube.com/watch?v=fSk5-skFXJ0>  
➡ <https://www.youtube.com/watch?v=k2V-cqE9Gy4>
- ・鍵山氏のインタビュー記事はこちらから ➡ <https://k-tsushin.jp/interview/souji/>

(注) 東京都出身。1951年自動車業界に入り、1961年イエローハットの前身であるローヤルを個人創業。自発的に始めたトイレ掃除が社内で広がり、やがて近隣の清掃活動に発展。この経験を通して凡事徹底を提唱し、後に「日本を美しくする会」を発足。活動の根幹となるトイレ掃除はやがて海外からも注目される。『掃除に学んだ人生の法則』等著書多数。

## 「世界の秘密を知る」 — 2年次総合総括 —

総合担当・鈴木 祐大

先日、宮崎駿監督（83歳！）による長編アニメーション『君たちはどう生きるか』がアカデミー長編アニメ映画賞を受賞したことが話題になりました。宮崎監督作品の受賞は2回目で、2001年の作品『千と千尋の神隠し』でも同賞を受賞しています。『千と千尋の神隠し』で強烈に印象に残っているのが、当時NHKで放送されていた制作過程のドキュメンタリー番組です。その番組では、スタジオジブリの、当時まだ若手アニメーターであった米林宏昌さん（後に『思い出のマーニー』、『メアリと魔女の花』などを監督、アカデミー賞にノミネート）が『千と千尋の神隠し』の一場面を担当するのですが、宮崎監督からひたすらボツをくらい続けます。その場面とは、ある人物がただ春巻を食べるだけのシーンです。米林さんは宮崎監督にOKをもらうためにどうしたか。給料1カ月分をはたいて当時最新式のデジタルビデオカメラを購入して、スタジオジブリの同僚にひたすら春巻を食べさせ、それを撮影し、動きを分析し、絵に落とし込みます。しかし、それでも宮崎監督はOKを出しません。ただ春巻を食べるシーンになぜそれほどこだわるのか。番組の中で宮崎監督は大変な熱量と共にこう語っていました。

彼（米林）がもう一步踏み込むことで、アニメーションを通じて世界の秘密がちょっと分かったという人間になれる。だって春巻を食うところに世界のカギが置いてあるんですよ！もし彼がいま目から鱗が落ちて、こういう風に春巻を食べればいいんだ、ということが分かったら、彼にとっては大変な飛躍ですよ。それが映画に決定的な貢献なんかしなくたって、世界の秘密を知ればいいんですよ。

私たちは、私たちの住む世界の全体がどのように出来上がって、どのように動いているのかを知ることが出来ません。それを知るには、世界は複雑すぎるからです。しかし、その世界が動いた結果として「どこかの誰かが今、春巻を食べている」という場面を目にすることはできます。その場面を徹底的に探究することで世界の仕組みを逆算することができる。世界の秘密を知ることができるわけです。ここでいう「春巻」は「じゃんけんの必勝法」でも「泳ぐときの体の使い方」でも「推しができる人間の特徴」でも「魚に芸が仕込めるか」でも良いのです。それぞれの人がそれぞれのスタート地点から探究を突き詰めることで、世界の秘密が少しずつ解き明かされてくのです。『千と千尋の神隠し』で「春巻」を突き詰めて世界の秘密に触れた当時の米林さん、現在の米林監督は、今ではアカデミー賞ノミネート監督であり、宮崎監督が最も信頼するアニメーターの1人になりました。そして今回受賞した『君たちはどう生きるか』の原画も担当されています。皆さんも、皆さん自身の探究を突き詰めて世界の秘密に触れてみましょう。そのためにも春休み、論文2,500字達成、頑張ってください。

## 球技大会が行われました

3/5（火）に球技大会が行われました。雨天のため全体育館でバスケットボールを行い、楽しいひとときを過ごせました。準備してくれた生徒会役員の皆さん、審判をしてくれたバスケットボール部の皆さん、ありがとうございました。結果は下記のとおりです。

男子	1位	1組	2位	3組	3位	6組
女子	1位	1組	2位	7組	3位	3組



男女決勝戦の様子

## 1学期の主な行事予定

- 4/ 8（月）始業式
- 9（火）離任式、対面式、課題考査
- 17（水）校外学習
- 5/20（月）～24（金）中間考査
- 21（火）保護者会
- 6/ 1（土）共通テスト模試
- 10（月）創立記念日
- 13（木）・14（金）明南祭
- 27（木）～7/3（水）期末考査
- 7/ 4（木）・5（金）総合学力テスト
- 8（月）球技大会
- 19（金）終業式